

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
交通論ゼミ	日本・外国の交通や交通に関する政策を深く理解する	藤井 大輔	2年次通年
講義の目的	日本の交通事業とそのシステム、交通サービス産業の現状を理解し、外国の交通を参考にして、交通政策のあり方について論理的に追究する。		
到達目標	外国の交通についても参考にしながら、日本の交通事業とそのシステム、交通サービス産業の現状、そして交通政策のあり方について、さまざまな文献やデータに当たりながら論理的に追究し、ゼミ生各自が卒業論文を書き上げることを目標とする。		
講義内容	日本の交通事業とそのシステム、交通サービス産業の現状を理解し、外国の交通を参考にして、交通政策のあり方について論理的に追究する。対象となる交通政策は、例えば整備新幹線や並行在来線の問題、大都市内の交通、ルーラル地域の交通、空港や高速道路インフラの整備、DMV、LRT や自動運転自動車など新しい技術を用いた交通などである。		
講義スケジュール	第1講	前期オリエンテーション:「卒業論文を書く」ことの意義	
	第2講	卒業論文に向けた問題意識の設定	
	第3講	ゼミ生各自の問題意識について議論しあう (1)	
	第4講	ゼミ生各自の問題意識について議論しあう (2)	
	第5講	ゼミ生各自の問題意識について議論しあう (3)	
	第6講	ゼミ生各自の問題意識について議論しあう (4)	
	第7講	ゼミ生各自の問題意識について議論しあう (5)	
	第8講	問題意識の解明に必要な文献・データを紹介する (1)	
	第9講	問題意識の解明に必要な文献・データを紹介する (2)	
	第10講	問題意識の解明に必要な文献・データを紹介する (3)	
	第11講	卒業論文の枠組をプレゼンテーションする (1)	
	第12講	卒業論文の枠組をプレゼンテーションする (2)	
	第13講	卒業論文の枠組をプレゼンテーションする (3)	
	第14講	卒業論文の枠組をプレゼンテーションする (4)	
	第15講	ゼミ合宿について	

講義スケジュール	第 16 講	後期オリエンテーション
	第 17 講	卒業論文での序論・本論・結論の筋書きを議論する (1)
	第 18 講	卒業論文での序論・本論・結論の筋書きを議論する (2)
	第 19 講	卒業論文での序論・本論・結論の筋書きを議論する (3)
	第 20 講	卒業論文での序論・本論・結論の筋書きを議論する (4)
	第 21 講	卒業論文での序論・本論・結論の筋書きを議論する (5)
	第 22 講	卒業論文の本格的な執筆に向けた説明
	第 23 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (1)
	第 24 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (2)
	第 25 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (3)
	第 26 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (4)
	第 27 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (5)
	第 28 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (6)
	第 29 講	卒業論文執筆進捗状況指導 (7)
第 30 講	卒業論文の最終確認	
指導方法	自分自身が「どこが、どのように問題で、もっとよりよくすればいいのか」と考え抜く。そして、その問題意識の下で、冷徹な頭脳で研究でき、徹底して調べ、自分の力で論じることをいとわない。この姿を求めて指導する。	
授業外学習	このゼミでは、卒業論文を執筆するために、問題意識をどう設定するか、文献やデータの在り処、論文の筋書きなど、相当な授業外学習が必要である。この授業外学習では、多くの書籍・文献を読み込むことになる。	
成績評価方法	卒業論文 50%、平常点 50% (報告 25%、議論 25%)、計 100% で評価する。	
テキスト	運輸調査局、『運輸と経済』2013 年 4 月号「特集交通論を学ぶ」。(テキスト販売時には販売されないので注意する。前期第 1 講時に説明、指示する)	
参考文献	日本交通学会編、『交通経済ハンドブック』、白桃書房、2011 年。ゼミ生各自の卒業論文の内容(問題意識など)に応じた参考書を、適宜、紹介する。	
事項記	ゼミ合宿(8 月、東日本大震災復興地の交通事情を視察)のほか、学外での学習活動も計画している。	